

○総合的な学習の時間

(地域貢献活動「やかプロ」の様子)

SDGs 11「住み続けられるまちづくりを」をテーマに、課題解決型学習を進めています。課題発見、情報収集、整理・分析、まとめ・発表のサイクルを3年間で7回繰り返す計画です。

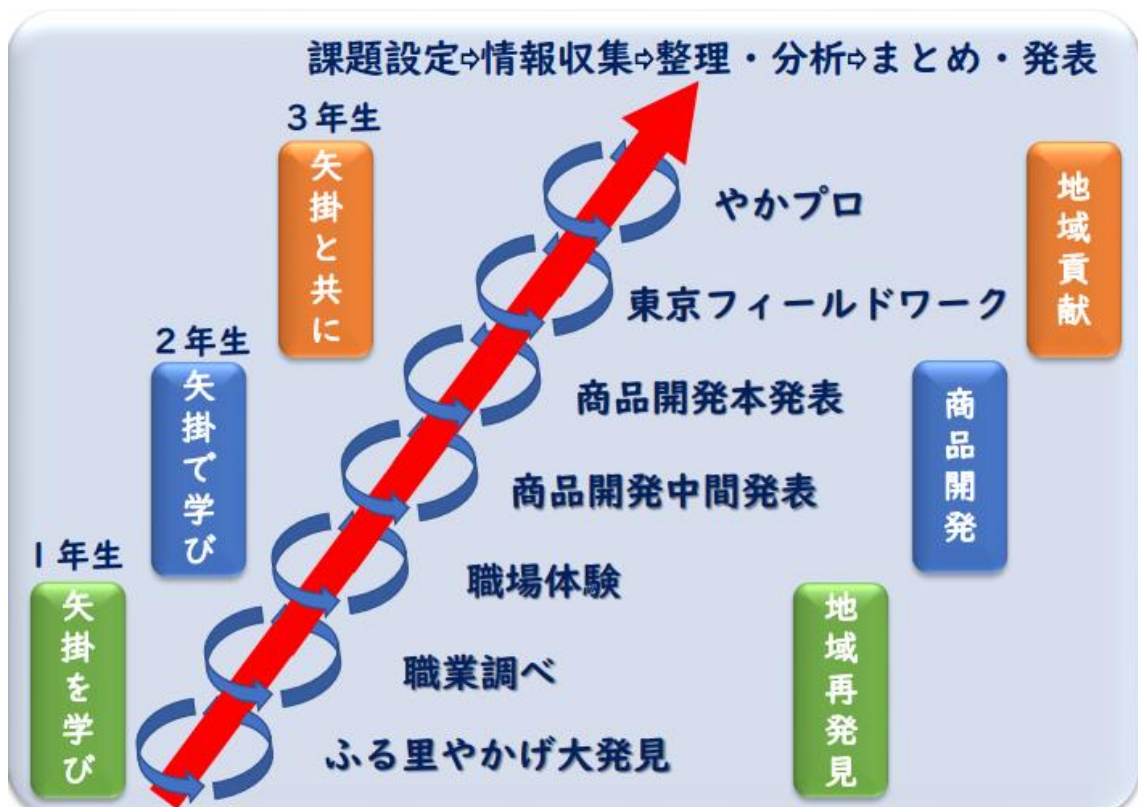
「矢掛探究」「職業調べ」

「商品開発」「東京フィールドワーク」

「地域貢献活動『やかプロ』」等を行います。自分の考えや課題を更新し、教科横断的に探究のサイクルをくり返します。

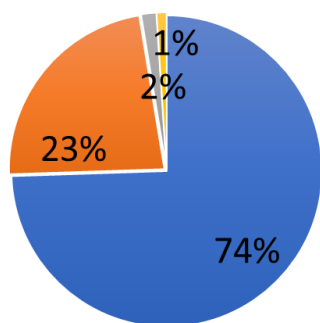


(総合的な学習の時間 全体構想図)



生徒アンケート

「やかプロ」に主体的に参加できましたか



■できた ■ややできた
■ややできていない ■できていない

(令和5年9月実施)

「やかプロ」開催

9月9日(土)、「やかプロ」を開催しました。たくさんの皆様にご協力いただき、ありがとうございました。生徒は、それぞれの役割を果たしながら、よりよいものを目指して工夫を重ねていました。

開催後、生徒にアンケート調査を行いました。「『やかプロ』に主体的に参加できましたか」という質問にほとんどの生徒が、主体的に参加できたと答えています。「自分たちの力で、地域に貢献しよう」という思いを行動に移すことができた結果だと思います。

「やかプロ」は、役場・公民館・商店街・地域ボランティア・PTAの方々をはじめ、多くの皆様の支えによって成り立っています。本当にありがとうございました。

「主体性を発揮できた場面があれば教えてください」という質問には、たくさんの回答がありました。

- ・暑い外で待っている人が多かったので、待合室のイスを増やしてできるだけ多くの中中で待てるようにした。
- ・お客様のことを考えて、飲み物を渡すとき「お待たせしました」「お楽しみください」と一緒に一言添えた。
- ・お客さんに質問されたとき、臨機応変に対応することができた。予定になかったことがあっても、今自分が何をすれば良いか考えて行動できた。
- ・何がいつまでに必要ななど、細かいところまで逆算して考えられた。
- ・あらかじめ準備物や話す内容をまとめてから活動することができた。各公民館やB&Gへの連絡などを進んで行った。
- ・お客様への説明や入場のタイミングなどを修正しながらより良くしていった。
- ・カルメ焼きが上手くできなかったときは、どうやれば上手く作れるのかメンバーと話し合っ て試行錯誤してできるようになった。
- ・自分の担当の仕事を最後までやりつつ、他の1, 2年生の手伝いをした。大人数でお客様が来たときは、3, 4人程度まとめて説明するようになった。

○生徒開発商品のお披露目

令和6年9月7日(土)、今年も「やかプロ」開催です。昨年度の2年生(現3年生)が開発した「無限ふりかけ」がお披露目されました。

「無限ふりかけ」

○作ろうと思ったきっかけ

- ・野菜嫌いな小さな子どもにも、野菜をたべてほしい。
- ・矢掛町にはたくさんのおいしい野菜があることを知ってほしい
- ・廃棄される野菜を使って、材料・アイデア・おいしさ「無限」・・・